

広域避難者支援連絡会 in 東京 2018 年度事業報告書

2019 年 6 月

広域避難者支援連絡会 in 東京

1 連絡会の概要

(1) 名 称 広域避難者支援連絡会 in 東京

(2) 設立日 2013 年 5 月 22 日 (水)

(3) 事務局 広域避難者支援連絡会 in 東京 事務局
東京ボランティア・市民活動センター 内 担当：加納、田村、神辺
〒162-0823 新宿区神楽河岸 1-1 TEL 03-3235-1171 FAX03-3235-0050
ホームページ <http://kouikihinan-tokyo.jimdo.com/>
メール kouikihinan@tvac.or.jp

(4) 参加団体 14 団体。団体名は下記の通り (五十音順)。

荒川区社会福祉協議会
いたばし総合ボランティアセンター
AAR Japan[難民を助ける会]
こどもプロジェクト
金光教首都圏災害ボランティア支援機構
災害復興まちづくり支援機構
全労済 (全国労働者共済生活協同組合連合会)
中央労働金庫
東京足湯プロジェクト
東京災害ボランティアネットワーク
東京都生活協同組合連合会
東京ボランティア・市民活動センター
東京労働者福祉協議会
連合東京

2 連絡会の事業報告

(1) 総会の開催

総会を開催し、2018年度事業計画及び収支予算等について審議した。

(2) 定例会の開催

連絡会の構成団体が集まり、情報交換や企画検討を行う定例会を開催した（毎月1回開催）。

<実績>

第1回 4/12、第2回 5/9、第3回 6/13、第4回 7/11、第5回 9/13、第6回 10/11

第7回 11/7、第8回 12/13、第9回 1/10、第10回 2/14、第11回 3/14、第12回 3/26

(3) 当事者団体との協働事業

都内にある避難当事者団体同士のネットワーク作りをさらに進めるため、この間連携している当事者団体と協働して広域での具体的な交流プログラムを実施した。なお、この事業をすすめるにあたり、合計15回の実行委員会を開き、企画の検討を行った。

①広域交流事業

<実績>

○新春（ほっこり）交流会

日時：2019年1月20日（日）午前11時00分～午後3時

場所：清澄庭園大正記念館

参加者：75人（うち避難者55人）

○避難者と支援者によるふれあいフェスティバル

日時：2019年3月17日（日）午前10時30分～午後3時30分

場所：飯田橋セントラルプラザ（12階、10階、1階）

参加者：275人（うち避難者149人）

○実行委員会の開催

第1回 4/25、第2回 5/10、第3回 5/30、第4回 6/7、第5回 6/27、第6回 7/12、

第7回 8/29、第8回 9/21、第9回 10/12、第10回 11/15、第11回 12/6、第12回 1/9、

第13回 2/14、第14回 3/5、第15回 3/26

※9/30に予定していた「ふれあいフェスティバル」が台風に伴う悪天候によって中止とせざるを得ず、その代替として3/17に実施した。

※埼玉県や神奈川県、千葉県、山梨県、茨城県の支援団体に声掛けを行い、関東圏でのつながりを強化した。

※広域で交流することで普段出会うことの少ない同郷の避難者と交流する機会となった。特に、身近な地域での交流の場が少なくなっていることや他地区に移住した方も増えてきている中で、交流を楽しみにされている方が多く見られた。

※新春交流会は初めての試みだったが、参加者の声を聴くと、交流だけでなく今後の避難生

活や帰還、また、様々な制度や支援について意見交換を望む声も出てきている。

※実行委員会を設置し、広域避難者支援連絡会 in 東京も委員として参加するとともに事務局を担った。実行委員会を重ねることで、当事者団体のネットワークを深める場となった。

②避難者のことを地域住民に知ってもらうためのツール作り

- ・避難者のことや避難者支援について知ってもらうためのパネルを作成した。
- ・また、作成したパネルについては、3月17日に実施した「避難者と支援者によるふれあいフェスティバル」にて飯田橋セントラルプラザ1階にて展示した。

(4) 広域避難者支援ミーティング in 東京の開催

<目的>

避難者支援団体や避難当事者団体の交流、連携を促すための情報交換の場を提供し、様々な支援手法・アイデアの共有を通して、避難者支援団体によるさらなる支援の充実・工夫を図った。

【オープンミーティング 実績】

○第17回広域避難者支援ミーティング in 東京

日時：2018年9月4日（火）14時～16時45分

場所：日本教育会館8階第2会議室

内容：広域避難者支援に関する話題提供／情報交換・意見交換

参加者：当事者団体、支援者、被災者支援に関心のある方など45名（29団体）が参加

※政府は発災から10年を「復興期間」としている。そのため、2020年を境に支援体制が大きく変わり、制度による支援も減るであろうと想定されている。これらの現状を踏まえ、その支援体制の変化に対し、支援団体として何ができるか検討するために、「2020年を超えてつなげる支援のかたち」というテーマで本ミーティングを開催した。

【クローズドミーティング 実績】

○広域避難者支援ミーティング in 東京

日時：2018年11月26日（火）14時～16時40分

場所：東京都生協連会館3階会議室

内容：報告・話題提供／グループによる意見交換

参加者：37団体49名

うち、当事者団体6団体8名、支援団体11団体16名（行政含む）が参加

※復興創生期間の終了を見据え、今後の支援体制の変化に対し、当事者団体として何ができるか、また、長期的な支援のあり方について意見交換を行うことを目的に、当事者団体みのクローズドミーティングを企画した。

※事業計画では、in 関東として実施することを想定していたが、上記内容を意見交換する上では、まずは日頃関係のある当事者団体で意見交換をすることにした。

※当事者団体のサロンに参加し合うクローズドミーティングは実施することができなかった。

(5) 情報発信

①メルマガの配信

都内避難者支援団体の取組みを伝えるメルマガを配信した。

<実績>

メルマガ配信者：2018 度末 118 人（2013 年度 43 人、2014 年度 86 人、2015 年度 95 人、2016 年度末 99 人、2017 年度末 106 人）

メルマガ配信回数：12 回

第 1 回 4/14、第 2 回 5/18、第 3 回 6/14、第 4 回 7/12、第 5 回 8/17、第 6 回 9/13、第 7 回 10/5、第 8 回 11/14、第 9 回 12/7、第 10 回 1/20、第 11 回 2/15、第 12 回 3/26

※メルマガの内容は、地域でのサロン情報、法律相談会や就職相談会情報、コンサート等への招待支援情報、広域避難に関するイベント情報、原発賠償説明会等の情報、助成金情報など

※月 1 回の頻度でメール配信を実施した。

②ホームページでの情報発信

広域避難者支援連絡会 in 東京のホームページを更新し、広域避難者支援ミーティング in 東京の告知や開催報告、広域交流会の開催報告などを行った。

(6) 勉強会の開催

勉強会は実施できなかった。

(7) ネットワーク作り

①避難当事者団体とのバディ制の実施

連絡会の参加団体の中で、各々の避難当事者団体を担当するバディ制を実施した。

バディ担当者は、当事者団体の活動状況の把握とともに各種助成金の紹介やさまざまな支援の申し出の調整を行った。

②全国・他県の支援団体とのネットワーク強化

他地域の情報収集やネットワーク強化のため、全国レベルでのミーティングや近隣県で開催される情報交換の場に参加した。

(8) その他

①取材対応・調整

テレビ局・ラジオ局・新聞社等のマスメディアからの取材の問い合わせについて、取材先の調整もしくは、広域避難者支援連絡会 in 東京として取材対応を行った。

以上